

複合微生物触媒による ポリ塩化ビフェニル類 (PCBs) の分解とその実用化

日時：2017年5月16日(火) 午後3:00～

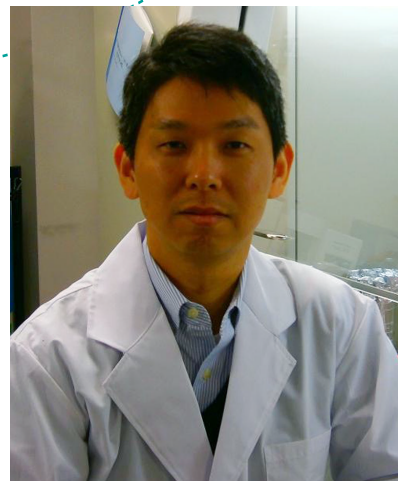
場所：愛媛大学樽味キャンパス農学研究科多目的ホール(松山市樽味3-5-7)

自然環境中に棲息するビフェニル資化性微生物の単離、ならびに単離株のPCBs分解特性の調査を重ね、基質特異性が異なる二つの芳香環水酸化酵素をそれぞれ発現する大腸菌株を分子育種した。さらに、これらを効果的に複合することで、カネクロールKC400までの商用PCBsを効率良く分解する知見が得られ、最近では分解性を強化した代謝経路の人工的再構築を目指す。本講演会では、貴学の渡辺教授との共同研究を含んだこれまでの成果を概説するとともに、その応用例も一部紹介する。

入場
無料

原 富次郎 先生

(京都府立医科大学医学部医学科保健・予防医学教室
多機能酵素学特別研究ユニット特任教授)



連絡先：渡辺誠也(大学院農学研究科生命機能学専攻応用生命化学コース)
e-mail irab@agr.ehime-u.ac.jp / ext 333

愛媛大学共同利用・共同研究拠点(LaMer)

LaMer事務局 TEL:089-927-8187 / mail:lamer@stu.ehime-u.ac.jp